

図書館だより

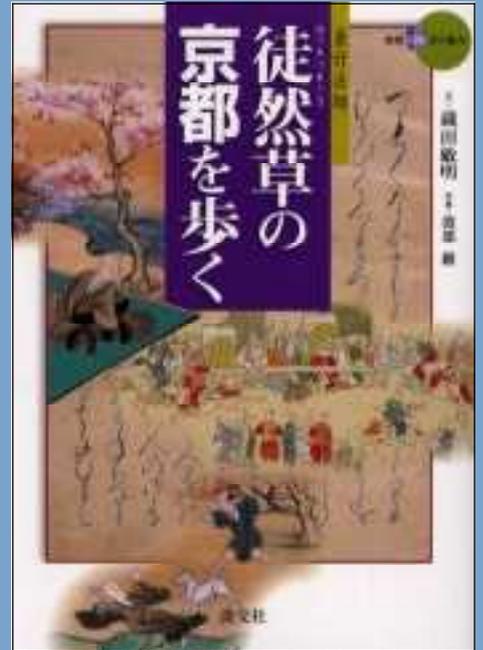
徳島県立鳴門高等学校
図書館
平成31年1月号

兼好法師の愛した京都 徒然草の京都を歩く

蔵田 敏明

兼好は「心やはらかに、情けある」という京都人の人間性を賛美したそうです。昔の言葉は現代とは変わっているので読むのになんか苦労しました。私は、「京都という都が、唯一日本独自の文化を編み出した原点の地であって、京都の中に日本のふるさとを、季節を、生活を認識するのだ。」と言うところが印象に残りました。日本のふるさとは京都だと私は思いました。日本のふるさとのことを知るのには楽しかったです。

209 峰久 音楽



ワンランク上の勝てるダブルスをめざす 岩渕聡のテニスダブルス 最強バイブル

岩渕 聡

僕がこの本を選んだ理由は、テニス部に入っていて、ダブルスについていろいろ知りたいと思ったからです。この本を読んで分かったことは、シングルスとダブルスとで戦術が全然違うことです。ダブルスは、前衛と後衛があって、ボールが来たときのパートナーやボレーの打ち方などが載っていて、すごく分かりやすかったです。だから僕は、テニス経験者だけでなくテニスを知らない方にもこの本を読んでほしいと思いました。

202 山本 康平

